貸 借 対 照 表

(平成26年3月31日現在)

(単位:千円)

科目	金 額	科目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	2, 521, 478	流動負債	453, 468
現金及び預金	897, 599	買掛金	20, 273
受取手形	31,074	1年内返済予定の長期借入金	100, 000
売掛金	116, 421	リース債務	1,622
営業未収入金	10, 693	未払金	30, 452
有価証券	123, 650	未払費用	26, 048
販売用不動産	900, 853	未払法人税等	88, 904
商品	115, 476	未払消費税等	6, 279
製品	64, 659	前受金	9, 349
仕掛品	324	前受収益	1, 581
前払費用	49, 941	預り金	127, 474
未収入金	102, 899	賞与引当金	1, 481
預け金	115, 981	瑕疵担保損失引当金	40,000
その他	2, 255	固定負債	554, 440
貸倒引当金	△10, 352	長期借入金	446, 000
固定資産	1, 378, 289	リース債務	13, 841
有形固定資産	271, 000	退職給付引当金	6, 385
建物	270, 999	役員退職慰労引当金	46, 308
工具、器具及び備品	0	受入敷金保証金	12, 363
投資その他の資産	1, 107, 289	繰延税金負債	174
投資有価証券	949, 100	資産除去債務	29, 367
関係会社株式	20,000	負債合計	1, 007, 908
出資金	1,400	(純資産の部)	
敷金・保証金	103, 279	株主資本	2, 238, 352
長期貸付金	2, 400	資本金	5, 000, 000
会員権	22, 314	資本剰余金	1, 560, 321
長期前払費用	4, 184	その他資本剰余金	1, 560, 321
長期未収入金	24, 276	利益剰余金	△3, 990, 188
破産更生債権等	32, 319	その他利益剰余金	△3, 990, 188
その他	17, 752	繰越利益剰余金	△3, 990, 188
貸倒引当金	△69, 737	自己株式	△331, 780
		評価・換算差額等	653, 507
		その他有価証券評価差額金	653, 507
		純資産合計	2, 891, 859
資産合計	3, 899, 768	負債純資産合計	3, 899, 768

⁽注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

(平成25年4月1日から) 平成26年3月31日まで)

(単位:千円)

	科目	金	額
売	上高		1, 454, 125
売	上 原 価		1, 218, 182
売	上 総 利 益		235, 943
販売	三費及び一般管理費		485, 780
営	業 損 失		249, 837
営	業 外 収 益		
	受 取 利 息	7	
	受 取 配 当 金	4, 734	
	不 動 産 賃 貸 料	5, 887	
	有 価 証 券 売 却 益	87, 985	
	有 価 証 券 評 価 益	15, 995	
	そ の 他	39, 008	153, 618
営	業 外 費 用		
	売 上 割 引	107	
	貸倒引当金繰入額	282	
	そ の 他	3, 776	4, 166
経	常 損 失		100, 385
特	別 利 益		
	受 取 和 解 金	1,872	
	債務消滅益	26, 855	
	固定資産売却益	771, 650	800, 378
特	別 損 失		
	投資有価証券評価損	10, 052	
	事業撤退損	3, 691	
	減 損 損 失	110, 042	
	固定資産除却損	1, 957	
	移 転 費 用	11, 605	
	たな卸資産廃棄損	4, 262	
	原 状 回 復 費	3, 571	
	瑕疵担保損失引当金繰入額	40, 000	185, 182
税	引前 当期 純利益		514, 810
法人	税、住民税及び事業税		66, 810
当	期 純 利 益		447, 999

⁽注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

(平成25年4月1日から) 平成26年3月31日まで)

(単位:千円)

		主資	本
	1/1	工具	*
		資本剰余金	利益剰余金
	資 本 金	その他資本剰余金	その他利益剰余金
			繰越利益剰余金
当 期 首 残 高	5, 000, 000	1, 560, 321	△4, 438, 188
事業年度中の変動額			
当 期 純 利 益			447, 999
自己株式の取得			
自己株式の処分		△0	
株主資本以外の項 目の事業年度中の 変動額(純額)			
事業年度中の変動額合計	_	△0	447, 999
当 期 末 残 高	5, 000, 000	1, 560, 321	△3, 990, 188

(単位:千円)

	株主資本		評価・換算差額等		
	自己株式	株主資本合計	その他有価証 券評価差額金	評価・換算 差額等合計	純資産合計
当 期 首 残 高	△331, 750	1, 790, 383	65, 959	65, 959	1, 856, 342
事業年度中の変動額					
当 期 純 利 益		447, 999			447, 999
自己株式の取得	△30	△30			△30
自己株式の処分	0	0			0
株主資本以外の項 目の事業年度中の 変動額(純額)			587, 548	587, 548	587, 548
事業年度中の変動額合計	△30	447, 969	587, 548	587, 548	1, 035, 517
当 期 末 残 高	△331, 780	2, 238, 352	653, 507	653, 507	2, 891, 859

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

個 別 注 記 表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

- 1. 有価証券の評価基準及び評価方法
 - (1) 子会社株式及び関連会社株式……移動平均法による原価法
 - (2) 売買目的有価証券……時価法(売却原価は移動平均法により算定)
 - (3) その他有価証券

時価のあるもの……決算日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は 移動平均法により算定)

時価のないもの……移動平均法による原価法

2. たな卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)によっております。

(1) 商品、製品、原材料及び仕掛品

(ニッケル事業)

先入先出法

(その他の事業)

先入先出法

(2) 貯蔵品

先入先出法

(3) 販売用不動産

個別法

- 3. 固定資産の減価償却の方法
- (1) 有形固定資産……定率法を採用しております。

(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物 (附属設備は除く) については定額法)

なお、主な耐用年数は以下のとおりです。

建物及び構築物

10年~50年

機械装置及び運搬具 2年~10年

また、平成19年3月31日以前に取得した有形固定資産については、償却可能限度額まで償却が終了した翌年から5年間で償却する方法によっております。

(2) 無形固定資産……定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における 利用可能期間 (5年) に基づいております。

(3) リース資産 ……所有権移転外ファイナンス・リースに係るリース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する定額法によっております。

(4) 長期前払費用……定額法を採用しております。

4. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

売上債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員の賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当事業年度対応分を計上しております。

(3) 退職給付引当金

当社は、従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

(4) 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に充てるため、取締役会の内規に基づく期末要支給額 を計上しております。

(5) 瑕疵担保損失引当金

志村工場用地に設定しておりました借地権の譲渡に伴い、当該工場跡地の地中埋設物等の除去に関して、当社が負担すべき除去義務についてその発生に関して合理的と考えられる金額を計上しております。

- 5. その他計算書類作成のための重要な事項
 - (1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式を採用しております。

(2) 販売用不動産について

販売用不動産のうち一定基準をこえる特定物件にかかわる借入金利息を当該たな卸資産の取得価額に算入する方法を採用しております。

(3) 退職給付債務について

退職給付債務の算定にあたり簡便法を選択しております。

(重要な会計方針の変更)

該当事項はありません。

(貸借対照表に関する注記)

1. 担保に供している資産

販売用不動産土地 349,921千円

上記に対する債務

1年内返済予定長期借入金100,000千円長期借入金446,000千円2. 有形固定資産の減価償却累計額352,325千円

(損益計算書に関する注記)

1. 通常の販売目的で保有するたな卸資産の収益性の低下による簿価切下額

不動産事業原価 33, 267千円 製品売上原価 109千円 商品売上原価 11, 485千円

2. 減損損失

当事業年度において、当社は以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

用途	種類	場所	金額
事務所・本店	工具器具備品	東京都中央区	877千円
事務所・本店	建物付属設備	東京都中央区	8,838千円
事務所・本店	車両運搬具	東京都中央区	1,513千円
事務所・本店	電話加入権	東京都中央区	1,256千円
事務所・本店	ソフトウェア仮勘定	東京都中央区	1,154千円
事務所・営業所	工具器具備品	大阪府大阪市 他	171千円
事務所・営業所	建物付属設備	大阪府大阪市 他	110千円
事務所・教室	工具器具備品	大阪府大阪市 他	7,568千円
事務所・教室	建物付属設備	大阪府大阪市 他	9,919千円
事務所・教室	構築物	大阪府大阪市 他	696千円
事務所・教室	車両運搬具	大阪府大阪市 他	2,052千円
事務所・教室	リース資産	大阪府大阪市 他	11,707千円

事務所・教室	ソフトウェア	大阪府大阪市 他	2,102千円
事務所・教室	電話加入権	大阪府大阪市 他	11,596千円
工場	工具器具備品	埼玉県川口市	919千円
工場	建物付属設備	埼玉県川口市	2,314千円
工場	構築物	埼玉県川口市	265千円
工場	建物	埼玉県川口市	2,610千円
工場	土地	埼玉県川口市	44,365千円
			110 049毛田

合 計 110,042千円

(株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 当事業年度末日における発行済株式の数普通株式102,069,868株2. 当事業年度末日における自己株式の数普通株式1,475,154株